

172

様式44

令和4年6月27日

三重県知事

あて

医療法人の住所 三重県津市一身田町333番地

医療法人の名称 医療法人 思源会

理事長名 岩崎 誠

電話 059 (236) 5230

決 算 届

令和3年4月1日から令和4年3月31日までの決算を終了したので、医療法第52条第1項の規定により届出します。

[添付書類]

- 1 事業報告書
- 2 財産目録
- 3 貸借対照表
- 4 損益計算書
- 5 監事の監査報告書



〔別 紙〕

様式 1

事 業 報 告 書

(自 令和 3 年 4 月 1 日 至 令和 4 年 3 月 31 日)

1 医療法人の概要

(1) 名 称 医療法人 思源会

① 財団 しかく 社団 (出資持分なし 出資持分あり)② 社会医療法人 特定医療法人 出資額限度法人 その他③ 基金制度採用 基金制度不採用

注) ①から③のそれぞれの項目 (③は社団のみ。) について、該当する欄の口を塗りつぶすこと。(会計年度内に変更があった場合は変更後。)

(2) 事務所の所在地 三重県津市一身田町 333 番地

注) 複数の事務所を有する場合は、主たる事務所と従たる事務所を記載すること。

(3) 設立認可年月日 昭和 41 年 6 月 8 日

(4) 設立登記年月日 昭和 41 年 6 月 21 日

(5) 役員及び評議員

	氏 名	備 考

注) 1. 「社会医療法人、特定医療法人及び医療法第 4 2 条の 3 第 1 項の認定を受けた医療法人」以外の医療法人は、記載しなくても差し支えないこと。

2. 理事の備考欄に、当該医療法人の開設する病院、診療所又は介護老人保健施設 (医療法第 4 2 条の指定管理者として管理する病院等を含む。) の管理者であることを記載すること。(医療法第 4 6 条の 5 第 6 項参照)

3. 評議員の備考欄に、評議員の選任理由を記載すること。(医療法第 4 6 条の 4 参照)

2 事業の概要

(1) 本来業務 (開設する病院、診療所又は介護老人保健施設 (医療法第 4 2 条の指定管理者として管理する病院等を含む。) の業務)

種 類	施設の名称	開 設 場 所	許可病床数
病院	岩崎病院	三重県津市一身田町 333 番地	一般病床 52 床

			[医療保険 52床]
病院	第二岩崎病院	三重県津市一身田町 387 番地	回復期病床 36床 療養病床 28床 [医療保険 64床]
介護医療院	第二岩崎病院	三重県津市一身田町 387 番地	入所定員 20名

- 注) 1. 地方自治法第244条の2第3項に規定する指定管理者として管理する施設については、その旨を施設の名称の下に【 】書で記載すること。
2. 療養病床に介護保険適用病床がある場合は、医療保険適用病床と介護保険適用病床のそれぞれについて内訳を[]書で記載すること。
3. 介護老人保健施設の許可病床数の欄は、入所定員及び通所定員を記載すること。

(2) 附帯業務（医療法人が行う医療法第42条各号に掲げる業務）

種類又は事業名	実施場所	備考
居宅介護支援事業所	三重県津市一身田町 387 番地	
通所リハビリテーション	三重県津市一身田町 387 番地	
訪問リハビリ	三重県津市一身田町 333 番地	

注) 地方公共団体から委託を受けて管理する施設については、その旨を施設の名称の下に【 】書で記載すること。

(3) 収益業務（社会医療法人又は医療法第42条の3第1項の認定を受けた医療法人が行うことができる業務）

種類	実施場所	備考

(4) 当該会計年度内に社員総会又は評議員会で議決又は同意した事項

- 令和3年5月27日 令和3年度決算の決定
- 令和3年6月24日 臨時社員総会
定款の変更(介護医療院関連)
- 令和4年3月24日 令和4年度の事業計画及び収支予算の決定
“ 令和4年度の借入金額の最高限度額の決定
社員の退社に関する件
役員報酬に関する件

注) 以下については、病院又は介護老人保健施設を開設する医療法人が記載し、診療所のみを開設する医療法人は記載しなくても差し支えないこと。

(5) 当該会計年度内に開設（許可を含む）した主要な施設

(6) 当該会計年度内に他の法律、通知等において指定された内容

(7) そ の 他

注) 当該会計年度内に行われた工事、医療機器の購入又はリース契約、診療科の新設又は
廃止等を記載する。(任意)

様式 2

法人名 医療法人 思源会

※医療法人整理番号

所在地 津市一身田町333

財 産 目 録

(令和4年3月31日現在)

1. 資 産 額	1,464,486 千円
2. 負 債 額	986,114 千円
3. 純 資 産 額	478,372 千円

(内 訳)

(単位：千円)

区 分	金 額
A 流 動 資 産	560,401
B 固 定 資 産	904,085
C 資 産 合 計 (A+B)	1,464,486
D 負 債 合 計	986,114
E 純 資 産 (C-D)	478,372

(注) 財産目録の価額は、貸借対照表の価額と一致すること。

土地及び建物について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。

土 地 (□ 法人所有 □ 賃借 ■ 部分的に法人所有(部分的に賃借))
 建 物 (■ 法人所有 □ 賃借 □ 部分的に法人所有(部分的に賃借))

様式 3 - 1

法人名 医療法人 思源会

※医療法人整理番号

所在地 三重県津市一身田町333

貸 借 対 照 表

(令和4年3月31日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 流 動 資 産	560,401	I 流 動 負 債	416,464
現金及び預金	218,055	支 払 手 形	
事業未収金	310,838	買 掛 金	62,074
有 価 証 券		短 期 借 入 金	275,000
た な 卸 資 産	31,456	未 払 金	59,094
前 渡 金		未 払 費 用	
前 払 費 用		未 払 法 人 税 等	489
繰 延 税 金 資 産		未 払 消 費 税 等	3,111
その他の流動資産	52	繰 延 税 金 負 債	
II 固 定 資 産	904,085	前 受 金	
1 有 形 固 定 資 産	836,149	預 り 金	16,696
建 物	577,016	前 受 収 益	
構 築 物	4,194	〇 〇 引 当 金	
医療用器械備品	9,984	その他の流動負債	
その他の器械備品	7,269	II 固 定 負 債	569,650
車両及び船舶	212	医 療 機 関 債	
土 地	237,474	長 期 借 入 金	562,150
建設仮勘定		繰 延 税 金 負 債	
その他の有形固定資産		〇 〇 引 当 金	
2 無 形 固 定 資 産	5,180	その他の固定負債	7,500
借 地 権		負 債 合 計	986,114
ソフトウェア	3,431	純 資 産 の 部	
その他の無形固定資産	1,749	科 目	金 額
3 その他の資産	62,756	I 基 金	8,000
有 価 証 券	5,440	II 積 立 金	
長期貸付金		代 替 基 金	
保有医療機関債		別 途 積 立 金	200,000
その他長期貸付金		繰 越 利 益 積 立 金	270,372
役員等長期貸付金	12,240	III 評 価 ・ 換 算 差 額 等	
長期前払費用		そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	
繰 延 税 金 資 産	4,942	繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	
その他の固定資産	40,134	純 資 産 合 計	478,372
資 産 合 計	1,464,486	負 債 ・ 純 資 産 合 計	1,464,486

(注) 1. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。また、別に表示することが適當であると認められるものについては、当該資産、負債及び純資産を示す名称を付した科目をもって、別に掲記することを妨げないこと。

2. 社会医療法人及び特定医療法人については、純資産の部の基金の科目を削除すること。

3. 経過措置医療法人は、純資産の部の基金の科目の代わりに出資金とするとともに、代替基金の科目を削除すること。

様式 4 - 1

法人名 医療法人 思源会

※医療法人整理番号

所在地 三重県津市一身田町333

損 益 計 算 書
(自令和3年4月1日 至 令和4年3月31日)

(単位：千円)

科 目	金 額	
I 事業損益		
A 本来業務事業損益		
1 事業収益		2,002,214
2 事業費用		
(1)事業費	1,984,373	
(2)本部費		
本来業務事業利益		17,841
B 附帯業務事業損益		
1 事業収益		
2 事業費用		
附帯業務事業利益		
C 収益業務事業損益		
1 事業収益		
2 事業費用		
収益業務事業利益		
事業利益		17,841
II 事業外収益		
受取利息	165	
その他の事業外収益	33,140	
III 事業外費用		
支払利息	8,347	
その他の事業外費用	8,288	
経常利益		34,511
IV 特別利益		
固定資産売却益		
その他の特別利益		
V 特別損失		
固定資産売却損		
その他の特別損失		
税引前当期純利益		34,511
法人税・住民税及び事業税	489	
法人税等調整額		
当期純利益		34,022

(注) 1. 利益がマイナスとなる場合には、「利益」を「損失」と表示すること。

2. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。また、別に表示することが適当であると認められるものについては、当該事業損益、事業外収益、事業外費用、特別利益及び特別損失を示す名称を付した科目をもって、別に掲記することを妨げないこと。

様式 6

監 事 監 査 報 告 書

医療法人 思源会
理事長 岩崎 誠 殿

私（注1）は、医療法人思源会の令和³平年会計年度（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）の業務及び財産の状況等について監査を行いました。その結果につき、以下のとおり報告いたします。

監査の方法の概要

私たちは、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、本部及び主要な施設において業務及び財産の状況を調査し、事業報告を求めました。また、事業報告書並びに会計帳簿等の調査を行い、計算書類、すなわち財産目録、貸借対照表及び損益計算書（注2）の監査を実施しました。

記

監査結果

- (1) 事業報告書は、法令及び定款（寄附行為）に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- (3) 計算書類は、法令及び定款（寄附行為）に従い、損益及び財産の状況を正しく示しているものと認めます。
- (4) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款（寄附行為）に違反する重大な事実は認められません。

令和4年6月27日

医療法人思源会

監事 吉川 寿子



（注1）監査人が複数の場合には、「私たち」とする。

（注2）関係事業者との取引がある医療法人については、「財産目録、貸借対照表、損益計算書及び関係事業者との取引の状況に関する報告書」とし、社会医療法人債を発行する医療法人については、「財産目録、貸借対照表、損益計算書、純資産変動計算書、キャッシュ・フロー計算書及び附属明細表」とする。